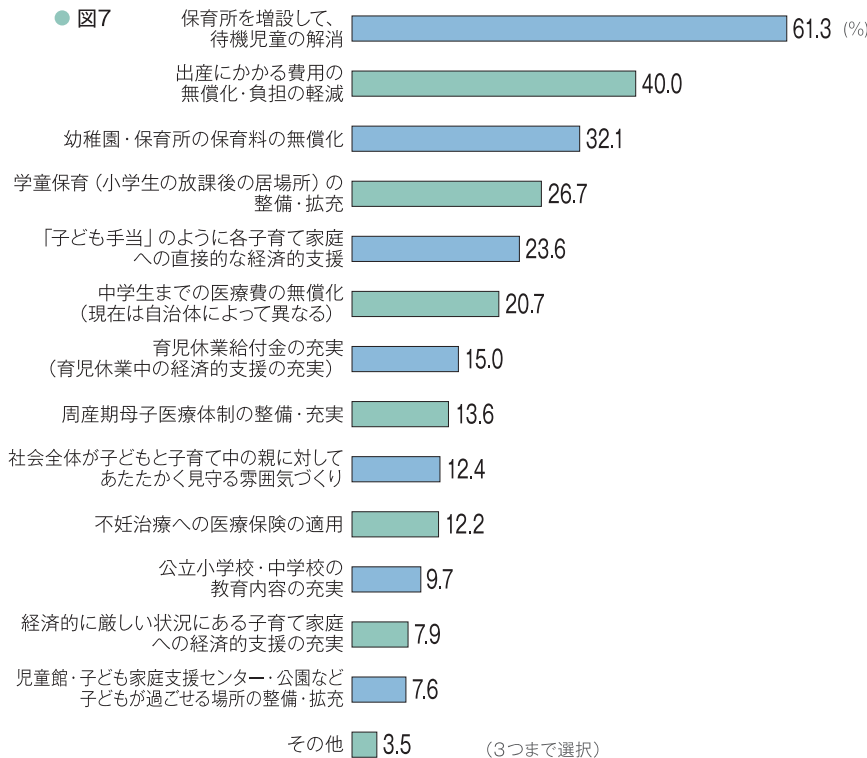


子育て支援の重要課題は、「保育所を増設して、待機児童の解消」が第1位。

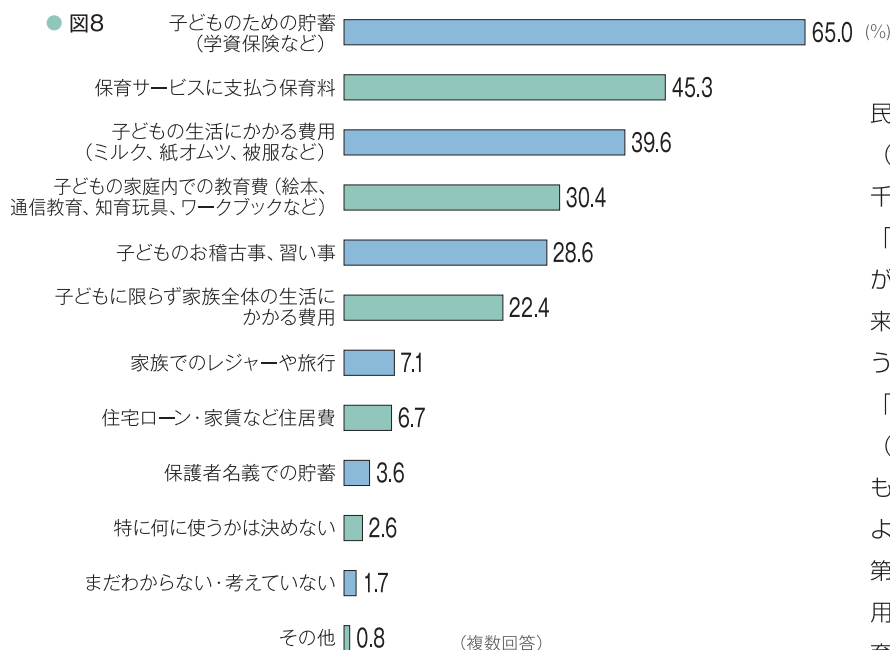
Q より子育てしやすい環境を整えるために、あなたは妊娠・出産・子育てに関連するどの課題を解決するのが重要だと思いますか。



14項目の中で、他を大きく引き離して第1位は、「保育所を増設して、待機児童の解消」(61.3%)である。第2位は「出産にかかる費用の無償化・負担の軽減」(40.0%)である。未就学児を持つ母親は、自分自身の妊娠・出産経験や、今後の妊娠・出産を考えて、重要な課題としてとらえているのだろう。第3位は「幼稚園・保育所の保育料の無償化」(32.1%)である。本調査の対象は働く母親が多いこともあるのか、第4位には「学童保育の整備・拡充」(26.7%)があがった。近い将来直面する、小学校入学後の放課後の居場所の確保を既に課題として意識している。

「子ども手当」、使い道の第1位は子どものための貯蓄。第2位は保育サービスに支払う保育料として使いたい。

Q 「子ども手当」が支給されたら、あなたはどのように活用したいと思いますか。



民主党が政権公約に掲げた「子ども手当」(2011年から子ども1人あたり月額2万6千円を中学卒業まで支給)の使い道は、「子どものための貯蓄(学資保険など)」が突出して第1位で、65.0%であった。将来予測される教育費などの支出に備えようとする人が多いのだろうか。第2位は「保育サービスに支払う保育料」(45.3%)であった。本調査の対象は子どもを保育サービスに預けている、又は預けようとしていた母親が多いためであろう。第3位以降は、「子どもの生活にかかる費用」(39.6%)、「子どもの家庭内での教育費」(30.4%)「子どものお稽古事、習い事」(28.6%)、と続く。